

**稲丘・稲岡神社**

大昔、父と子の神さまが争い、負けた父の船が壊されて積んであった稲束が稲岡山に流れていったといわれています。稲岡山は青山ともいわれ、私たちの住む青山の地名となりました。ふもとの稲岡神社には農業の女神さまがまつられています。

行った日



**「お陰参り図」絵馬**

江戸時代、農民はその土地を離れることを禁じられていましたが、伊勢神宮まいりは許されていました。稲岡神社の氏子、下手野の人がお伊勢まいりをした記念に奉納した絵馬で、現在は県の文化財に指定されています。

行った日



**旧山陽道の道標**

旧山陽道と因幡街道の分かれ道に江戸時代に建てられた石造り五角柱の立派な道標です。東国や西国から来た昔の旅人は、これを目印に北へ曲がり、山陰の鳥取方面へ向いました。市の文化財に指定されています。

行った日



**旧山陽道町並と教専寺**

古い町並みの面影が残る旧山陽道沿いに、浄土真宗教専寺があります。かつて境内には道行く人が振り返って見上げるほどの「見返り松」がありました。

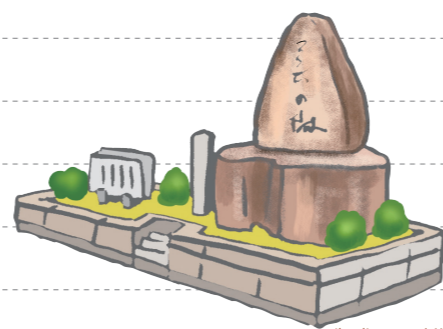
行った日



**黒田官兵衛古戦場跡**

戦国時代、龍野城の赤松氏と御着城の小寺氏が争い、小寺氏側の黒田官兵衛が勝利したところです。小丸山は、今は住宅地ですが、赤松氏の陣地がありました。仙石池は「すえがおいけ」がなまったもので、戦いの時、戦死者の血で赤く染まったそうです。

行った日



**22 青山地区**

人丸神社の柿本人麻呂は飛鳥時代の歌人(和歌(短歌)をよむ人)です。他にどんな歌をよんだのか調べてみましょう。



調べたこと、  
分かったことを  
書いてみよう!



**宗全寺跡(お薬師さん)**

戦国時代、播磨は赤松氏の領地でした。争いがあって、一時山名宗全という人が、この青山を拠点として支配していました。その時建てたのが宗全寺という壮大なお寺です。今も「塔の内」という地名が残り、薬師堂はその跡といわれています。

行った日



**龍野街道(桜峠)**

奈良時代の山陽道で、播州赤穂と青山をむすんでいます。江戸時代の山陽道とおおむね並行していて、大勢の人の行き来をさせたような街道なので、「隠れ街道」や赤穂浪士の「隠密街道」ともよばれています。

行った日



**人丸神社と妻見が丘**

百人一首で有名な柿本人麻呂が青山に住んでいた時、用事で奈良の都に出かけました。留守中に妻が石見の国からはるばる青山へたずねて来ました。夢でそのことを知った人麻呂は、急いで青山へもどり、この妻見が丘で会ったと伝えられています。

行った日



**法灯寺(遠山の地蔵さん)**

青山北公民館の北にあり、今は「遠山の地蔵さん」とよばれています。嘉吉2年(1442)に太田垣氏が建てました。法光上人が開いた法灯寺の跡地と伝えられています。大日如来をおまつりしていて、昔は、いろんなところからたくさんの方がおまいりにやって来たそうです。

行った日



**矢落の森**

大昔、神功皇后が戦いに向かう途中、南の麻生山から3本の矢を放ちました。その1本が落ちたところが矢落の森で、今の余部駅のあたりです。数百年前の洪水で流されましたが、ここに射目崎明神のほこらがあったそうです。

行った日

